

イベント等の開催に係る人数上限の緩和及び留意事項について (9月19日策定)

9月19日から、これまで「収容率の50%以内かつ5,000人以内」とされていたイベント等の開催に係る人数上限が一部緩和されます。

緩和する場合のイベント等開催にあたっての留意事項は以下のとおりです。

なお、緩和されるのは、「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について(別紙3)」及び「感染防止のチェックリスト(別紙4)」が遵守できる場合に限定されます。

できない場合は、これまで同様の取扱いとなりますので、「イベント等の開催に係る留意事項について(7月10日改訂)」をご確認ください。

イベント参加者向け留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ページ

イベント主催者等向け留意事項

大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合・・・・・・・・・・ 4ページ

大声での歓声・声援等が想定される場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7ページ

全国的・広域的なお祭り、野外フェス等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10ページ

地域の行事(盆踊り等、全国的又は広域的な人の移動が見込まれない行事で参加者がおおよそ把握できるもの)の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13ページ

【イベントの例】

分類	例
大声での歓声・声援等がないことを前提としうる場合	クラシック音楽コンサート、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等
大声での歓声・声援等が想定される場合	ロック・ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブのイベント等
全国的・広域的なお祭り、野外フェス等	花火大会 等
地域の行事	盆踊り 等

※複合的な性質を有するイベントに関しては、それぞれの性質に応じて要件を適用すること

※イベント中の食事を伴うものについては、大声での歓声・声援等がない場合であっても、「大声での歓声・声援等が想定される場合」に則り対策を講じること

※参加者が自由に移動でき、かつ入退場時や区域内の適切な行動確保ができない催物については、いかなる場合も「全国的・広域的なお祭り、野外フェス等」に則り対策を講じること

イベント参加者向け留意事項

イベントに参加しようとする場合は、次の点について御留意ください。

- ・発熱等の症状がある場合はイベントに参加しないこと
- ・イベントに参加する前に接触確認アプリをインストールすること。また、感染拡大防止のためにイベント主催者から連絡先登録等の求めがある場合には積極的に応じること
- ・イベントに参加する際には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクを着用すること。また、出入り口、トイレ等でこまめな手指消毒や手洗いをを行うなど、「新しい生活様式」に基づく行動を徹底すること
- ・イベントに参加する際には、入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、人と人が触れ合わない距離を確保するなど、いわゆる3密（密集、密接、密閉）の環境を避けるほか、そこにおける交流等を控えること
- ・会場内における食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛すること
- ・大声を伴う場合は、隣席と身体的距離を確保すること
- ・イベントに参加する前後には、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、打ち上げ等における感染リスクのある行動の回避）をとること

イベント主催者等向け留意事項 (大声での歓声・声援等がない場合)

1 時期と人数制限

9月19日から、クラシック音楽コンサート、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等の大声での歓声・声援等がないことを前提とするイベントについては、「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について（別紙3）」及び「感染防止のチェックリスト（別紙4）」が遵守できる場合、収容人数が10,000人以上の施設は収容率50%以内、それ以外の施設は収容率100%以内かつ5,000人以下のものは開催可能です。

なお、収容率については、座席等により参加者の位置が固定されず、又は収容定員の定めがない場合には、密が発生しない程度の距離を十分に確保できることが必要です。

また、全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談してください。

全国的又は大規模イベント開催に係る県との事前相談方法

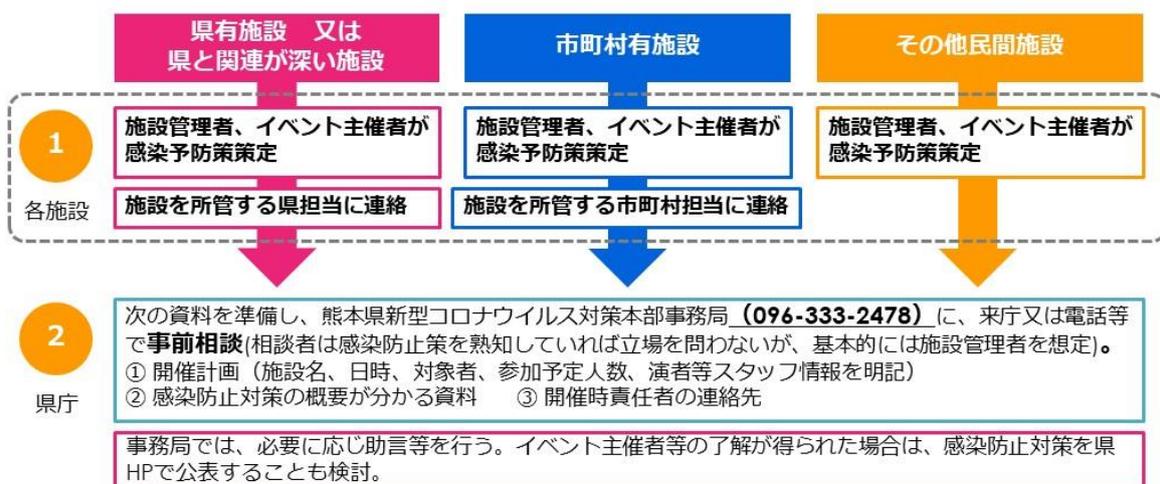
7月10日以降に、**全国的又は大規模なイベント**の開催には、感染防止対策について、都道府県との事前相談が必要になります。

対象施設：

- 全国的な人の移動を伴うイベントを開催することが想定される施設

- 収容人数が2,000人超の施設

→このような施設の管理者は、全国的(プロスポーツ等、全国的な人の移動を伴うイベント)又は大規模(1,000人超)イベントの開催要件等について、都道府県に**事前相談**をお願いします。



注：感染予防策の策定にあつては、業種別ガイドライン、県チェックリスト、県ホームページを参考にしてください。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ 熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること。また、こまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること
- ・ 接触確認アプリをインストールすること【重要】

(2) 連絡先を把握しましょう。【重要】

- ・ 万が一に備え、参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 屋内で開催する場合は、定期的に入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、2方向で換気を行うこと
- ・ 人と人との間隔（1m）を十分に確保すること
- ・ 入場人数や滞在時間を制限すること
- ・ 入退時、休憩時間や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

【接触感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、出入り口やトイレ等でこまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ 会場内では、人と人とは触れ合わない距離を確保すること
- ・ 混雑時には身体的距離を確保した誘導を行うこと

【飛沫感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあつては客席との距離を2m確保すること
- ・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛を促すこと
- ・ 大声を伴うイベントの場合、隣席等との身体的距離を確保すること。
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること

【その他】

- ・ 入場時等に検温を実施し、参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと。なお、事前に参加費等の支払いがある場合は、払い戻し措置等を規定しておくこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供するイベントの場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

イベント主催者等向け留意事項 (大声での歓声・声援等が想定される場合)

1 時期と人数制限

9月19日から、ロック・ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブのイベント等、大声での歓声・声援等が想定されるイベントについては、「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について(別紙3)」及び「感染防止のチェックリスト(別紙4)」が遵守できる場合、収容率50%以内のものは開催可能です。

ただし、収容人数が10,000人以下の施設においては、同一グループ(5人以内に限る。)内で座席等の間隔を設ける必要はありません。この場合、収容率が50%を超えることもありますが、人数の上限は5,000人とします。

なお、収容率については、座席等により参加者の位置が固定されず、又は収容定員の定めがない場合には、十分な人と人との間隔(1m)を確保できることが必要です。

また、全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談してください。

全国的又は大規模イベント開催に係る県との事前相談方法

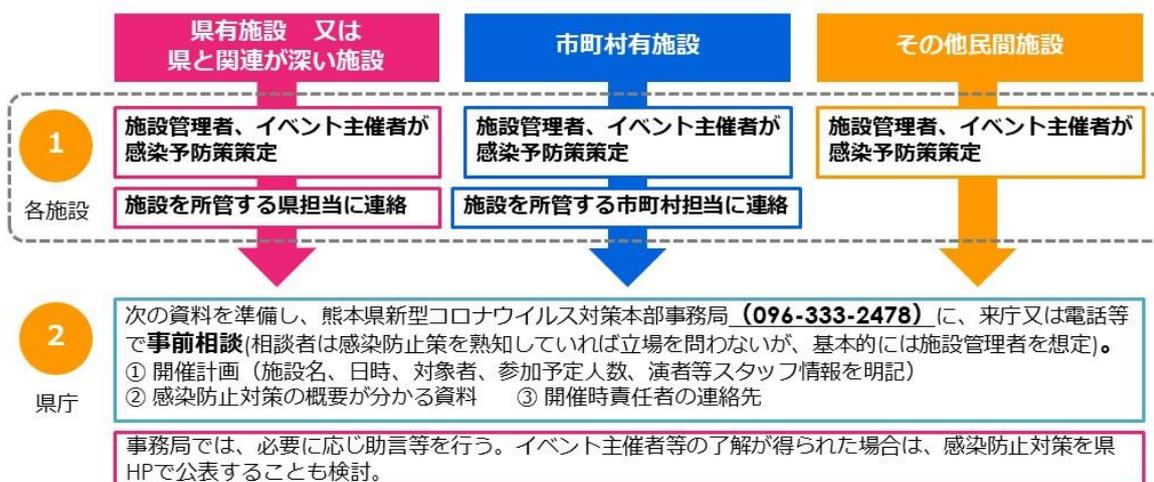
7月10日以降に、**全国的又は大規模なイベント**の開催には、感染防止対策について、都道府県との事前相談が必要になります。

対象施設：

- 全国的な人の移動を伴うイベントを開催することが想定される施設

- 収容人数が2,000人超の施設

→このような施設の管理者は、全国的(プロスポーツ等、全国的な人の移動を伴うイベント)又は大規模(1,000人超)イベントの開催要件等について、都道府県に**事前相談**をお願いします。



注：感染予防策の策定にあたっては、業種別ガイドライン、県チェックリスト、県ホームページを参考にしてください。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ 熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること。また、こまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること
- ・ 接触確認アプリをインストールすること【重要】

(2) 連絡先を把握しましょう。【重要】

- ・ 万が一に備え、参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 屋内で開催する場合は、定期的に入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、2方向で換気を行うこと
- ・ 人と人との間隔（1m）を十分に確保すること
- ・ 入場人数や滞在時間を制限すること
- ・ 入退時、休憩時間や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

【接触感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、出入り口やトイレ等でこまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ 会場内では、人と人が触れ合わない距離を確保すること
- ・ 混雑時には身体的距離を確保した誘導を行うこと

【飛沫感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあっては客席との距離を2m確保すること
- ・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛を促すこと
- ・ 大声を伴うイベントの場合、隣席等との身体的距離を確保すること。
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること

【その他】

- ・ 入場時等に検温を実施し、参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと。なお、事前に参加費等の支払いがある場合は、払い戻し措置等を規定しておくこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供するイベントの場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

イベント主催者等向け留意事項 (全国的・広域的なお祭り、野外フェス等)

1 時期と人数制限

9月19日から、全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なものについては、緩和されるのは、「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について(別紙○)」及び「感染防止のチェックリスト(別紙○)」が遵守でき、十分な人と人との間隔(1m)を設けることが可能な場合は開催可能です。

なお、全国的な人の移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を超えるイベントの開催を予定する場合、施設管理者又はイベントの主催者は県に事前相談してください。

全国的又は大規模イベント開催に係る県との事前相談方法

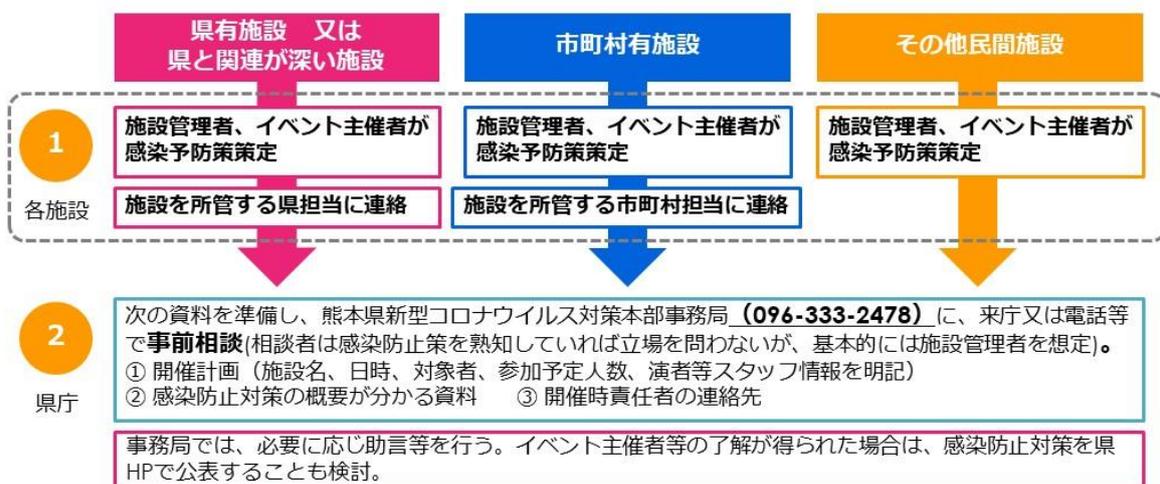
7月10日以降に、全国的又は大規模なイベントの開催には、感染防止対策について、都道府県との事前相談が必要になります。

対象施設：

- 全国的な人の移動を伴うイベントを開催することが想定される施設

- 収容人数が2,000人超の施設

→このような施設の管理者は、全国的(プロスポーツ等、全国的な人の移動を伴うイベント)又は大規模(1,000人超)イベントの開催要件等について、都道府県に**事前相談**をお願いします。



注：感染予防策の策定にあつては、業種別ガイドライン、県チェックリスト、県ホームページを参考にしてください。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイド

ライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

- (1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。
 - ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
 - ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
 - ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
 - ・ 熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること。また、こまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
 - ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること
 - ・ 接触確認アプリをインストールすること【重要】
- (2) 連絡先を把握しましょう。【重要】
 - ・ 万が一に備え、参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

- (1) 「3密」を避けましょう。
 - ・ 屋内で開催する場合は、定期的に入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、2方向で換気を行うこと
 - ・ 人と人との間隔（1m）を十分に確保すること
 - ・ 入場人数や滞在時間を制限すること
 - ・ 入退時、休憩時間や集合場所等において十分な間隔を確保すること
- (2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。
 - ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

- (1) 適切な感染防止策を実施しましょう。
 - 【接触感染の防止】
 - ・ 参加者やスタッフ等には、出入り口やトイレ等でこまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
 - ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
 - ・ 会場内では、人と人とが触れ合わない距離を確保すること

- ・ 混雑時には身体的距離を確保した誘導を行うこと

【飛沫感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあつては客席との距離を2m確保すること
- ・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛を促すこと
- ・ 大声を伴うイベントの場合、隣席等との身体的距離を確保すること。
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること

【その他】

- ・ 入場時等に検温を実施し、参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと。なお、事前に参加費等の支払いがある場合は、払い戻し措置等を規定しておくこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供するイベントの場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

イベント主催者等向け留意事項 (地域の行事(盆踊り等、全国的又は広域的な人の移動が見込まれない行事で参加者がおおよそ把握できるもの)の場合)

1 時期と人数制限等

6月19日から開催可能ですが、適切な感染防止策(発熱や感冒症状がある者の参加自粛、3密回避、行事の前後における3密の生ずる交流の自粛、手指の消毒、マスク着用等)を講じてください。

なお、参加者がおおよそ把握できる人数としてください。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ 熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること。また、こまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること
- ・ 接触確認アプリをインストールすること【重要】

(2) 連絡先を把握しましょう。【重要】

- ・ 万が一に備え、スタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

- (1) 「3密」を避けましょう。
 - ・ 人と人との間隔（1 m）を十分に確保すること
 - ・ 入退出時、休憩時間や集合場所等において十分な間隔を確保すること
- (2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。
 - ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

- (1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

【接触感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、出入り口やトイレ等でこまめな消毒や手洗いなどの感染防止対策を求めること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ 会場内では、人と人とは触れ合わない距離を確保すること
- ・ 混雑時には身体的距離を確保した誘導を行うこと

【飛沫感染の防止】

- ・ 参加者やスタッフ等には、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスクの着用を求めること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあつては客席との距離を2 m確保すること
- ・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛を促すこと
- ・ 大声を伴うイベントの場合、隣席等との身体的距離を確保すること。
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること

【その他】

- ・ 入場時等に検温を実施し、参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと。なお、事前に参加費等の支払いがある場合は、払い戻し措置等を規定しておくこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供するイベントの場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること